

平成28年8月4日

太宰府市教育委員会
委員長 樋田 京子 様

太宰府市立学校給食改善研究委員会

委員長 大石 明子



太宰府市における望ましい中学校給食のあり方について（答申）

盛夏の候、貴方様におかれましては、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、太宰府市立学校給食改善研究委員会は、平成27年10月29日の第1回委員会開催以来6回の会議を重ね、太宰府市の中学校が置かれている現状等を考慮しながら、成長期にある中学生にとって、心身の望ましい発達及び健康管理の面から、太宰府市における望ましい中学校給食ありかたについて議論を重ねてまいりました。

ここに当委員会として、太宰府市にふさわしい今後の中学校給食のあり方についての方向性をまとめさせていただきましたので答申いたします。

太宰府市教育委員会におかれましては、当委員会の答申を十分に踏まえていただき、太宰府市の子どもたちが今まで以上に健やかな学校生活を送ることができるよう、できるだけ早期に中学校給食を実現されますことをお願いいたします。

太宰府市における望ましい
中学校給食のあり方について

(答 申)

平成28年8月

太宰府市立学校給食改善研究委員会

太宰府市立学校給食改善研究委員会は、「食」や学校教育に関わる様々な立場の委員によって構成され、平成 27 年 10 月 29 日の第 1 回委員会以来 6 回の会議を開催し、太宰府市における中学校給食の望ましいあり方について議論を重ねて参りました。

ここに当委員会として、今後の太宰府市の中学校給食の方向性をまとめさせていただきますので答申いたします。

成長期にある中学生にとって、栄養のバランスのとれた食事の摂取は、心身の成長や健康の保持増進に欠かせないものです。また、食生活を取り巻く社会環境の変化に伴い、様々な「食」に関する問題が取り上げられるようになりました。そこで、「食」に関する知識と「食」を選択する力を身に付け、子どもが豊かな人間性を育む食育を推進することが求められています。さらに、経済的理由や家庭環境等から、十分な食事を摂ることができない子どももいます。このことから、学校給食の果たす役割がますます重要になってきています。

以上の点から、太宰府市立学校給食改善研究委員会といたしましては、現状の選択制がよいと言う意見もありましたが、主食、おかず、ミルクからなる完全給食を、すべての生徒を対象に実施していくことが望ましいと考えます。

しかしながら、議論を進めていく上で、各委員から次のような課題が出されました。

- 中学校給食に関するアンケート調査（「平成 27 年度 太宰府市中学校給食に関する意識調査」平成 28 年 2 月・3 月実施）において、保護者は給食を希望している割合が高い一方、当事者である小・中学生は、現状のようにミルク給食と併せて弁当の持参やランチサービス等の選択制を希望している割合が高い。

- 食物アレルギーを有する生徒に対して、現状の教職員体制では十分な対応が難しい。
- 全生徒を対象とした完全給食を導入することによって、中学生の学校生活にゆとりがなくなる、教員の負担増につながるという懸念がある。
- 給食費の未納により、学校事務員や教員の負担が増える。
- 中学校給食の実施により、新たな施設等を建設することで、老朽化が進んでいる小学校給食施設の改修が遅れるのではないかと懸念がある。

本委員会といたしましては、現状の選択制の利便性や内容を見直して継続すると言う意見もありましたが、他市町の事例を参考に様々な可能性を探りながら上記の課題について解決を図り、すべての生徒を対象にした完全給食を実施し、子どもたちが望ましい食生活習慣を身に付けることによって、自ら生きていく力を育むことができるようお願い、答申といたします。

太宰府市立学校給食改善研究委員会の経過について

(1) 太宰府市立学校給食改善研究委員会の設置

太宰府市長の選挙公約に基づく中学校給食の導入に関する調査研究についての意見具申を受け、太宰府市教育委員会は、太宰府市立学校給食改善研究委員会規則に基づき平成27年10月29日に当委員会を招集することといたしました。

(2) 太宰府市立学校給食改善研究委員会委員

委員長	大石 明子	学識経験者
副委員長	百武 シズ代	学識経験者
委員	岡 撰	中学校校長代表
委員	古田 信也	小学校校長代表
委員	椎葉 邦子	栄養教諭
委員	石内 美穂	栄養教諭
委員	中島 英幸	PTA 会長
委員	大谷 賢治	PTA 会長

(3) 当委員会の目的

太宰府市立学校給食改善研究委員会規則第2条1項1号に基づき、太宰府市の中学校がおかれている現状等を考慮しながら、成長期にある中学生にとって、心身の望ましい発達及び健康管理の面から、太宰府市における中学校給食の最も望ましい形態について調査研究することを目的とします。

(4) 委員会の開催経過

①第1回 平成27年10月29日(木)開催

ア) 学校給食改善研究委員会の設置

委員長に福岡女子短期大学食物栄養科教授大石明子氏を、副委員長に精華女子短期大学非常勤講師百武シズ代氏を選出した。

事務局より当委員会の設置理由等の説明を行う。

イ) 太宰府市の小中学校の現状について

小・中学校の児童・生徒数、小学校給食の現状、中学校ランチサービスについて説明を行う。

②第2回 平成28年1月21日(木)開催

ア) アンケート対象について

アンケート対象についての協議を行う。

イ) アンケート調査項目について

アンケート調査項目について、前回(平成16年度)のアンケート調査を基に、調査項目及び内容について協議を行う。

③第3回 平成28年3月23日(木)開催

ア) 一般市民を除くアンケート調査結果について

小学5・6年生、中学1・2年生及びその保護者、中学校教師のアンケート調査結果を基に意見交換を行う。

④第4回 平成28年5月12日(木)開催

ア) アンケート調査結果(一般市民中心)について

一般市民に対するアンケート調査結果がまとまり、全ての調査結果が出揃ったため、一般市民の調査結果を中心に意見交換を行う。

イ) 意見交換

アンケート結果を参考にしながら、それぞれの立場から太宰府市における中学校給食のあり方等についての意見交換を行う。

⑤第5回 平成28年7月13日(水)開催

ア) 答申書(案)について協議

答申書(案)の内容、構成について協議を行う。

⑥第6回 平成28年8月1日(月)開催

ア) 答申書(案)について協議

答申書(案)の内容、構成について最終確認を行う。